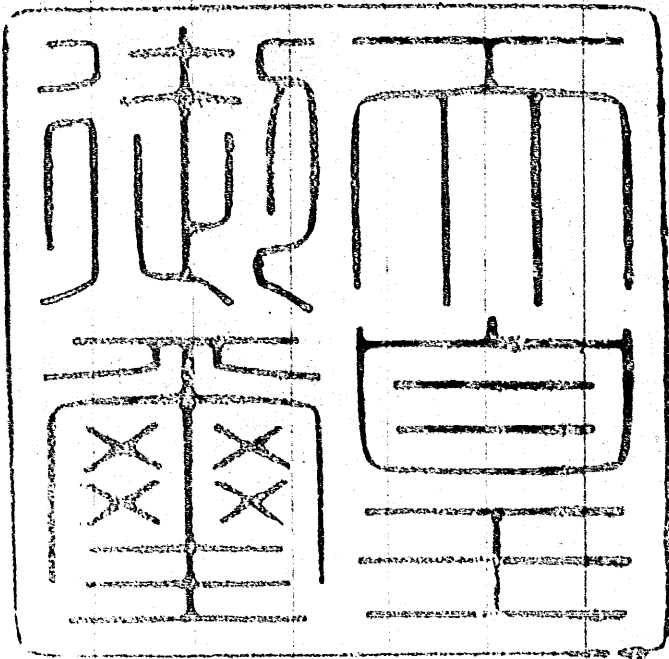


勅令第二百三十八號

朕陸軍工科學校令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

吉井加仁



大正九年八月七日

内閣總理大臣 原 敬之  
陸軍大臣 田中 義一

勅令第二百三十八號

陸軍工科學校令

第一條 陸軍工科學校ハ陸軍砲工兵工  
長ト爲スヘキ生徒及兵器技術ヲ掌ル  
砲工兵科士官ト爲スヘキ學生ヲ教育  
シ砲工兵工長タル學生ニ陸軍技術ニ  
關スル學術ヲ修得セシムル所トス  
第二條 生徒及學生ノ教育ヲ分チテ教  
授及訓育トシ其ノ教育綱領ハ陸軍大  
臣ノ認可ヲ受ケ陸軍技術本部長之ヲ

定ム

第三條

生徒及學生教育ノ實施ハ教則

ニ依ル其ノ教則ハ前條ノ教育綱領ニ

基キ陸軍技術本部長ノ認可ヲ受ケ校

長之ヲ定ム

第四條

陸軍工科學校ニ左ノ職員ヲ置

ク

校長

副官

教授部長

教官

生徒隊長

生徒隊副官

生徒隊中隊長

生徒隊附

主計

軍醫

准士官下士判任文官

第五條

校長ハ陸軍技術本部長ニ隸シ

校務ヲ總理ス

第六條 副官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第七條 教授部長ハ校長ノ命ヲ承ケ教務ヲ監理ス

第八條 教官ハ教授部長ノ命ヲ承ケ各科目ノ教授ヲ擔任ス

第九條 生徒隊長ハ生徒隊ヲ統ヘ校長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ監理ス

第十條 生徒隊副官ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十一條 生徒隊中隊長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ擔任ス

第十二條 生徒隊附ハ生徒隊中隊長ノ命ヲ承ケ訓育ヲ分擔ス

第十三條 主計及軍醫ハ校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十四條 准士官下士及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十五條 武官タル職員ニハ便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲ爲サシムルコト

アルヘシ

第十六條 學生ハ左ノ二種ニ之ヲ區別ス

普通科學生

高等科學生

第十七條 生徒ハ左ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 現役各兵科憲兵科除ク兵卒ニシテ召募試験ニ合格シタルモノ
- ニ 陸海軍現役豫備役又ハ後備役

ニ在ラサル者ニシテ召募試験ニ

合格シタルモノ

普通科學生ハ砲工兵工長ニシテ檢定

試験ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

高等科學生ハ砲工兵上等工長ニシテ

檢定試験ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ

充ツ

第十八條 前條ノ召募試験及檢定試験

其ノ他生徒及學生ノ採用ニ關スル事

項ニ付テハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條 生徒ノ修業期間ハ二年トシ十二月ヨリ翌々年十一月ニ至ル  
普通科學生ノ修業期間ハ一年トシ十二月ヨリ翌年十一月ニ至ル  
高等科學生ノ修業期間ハ一年トシ十二月ヨリ翌年十一月ニ至ル

第二十條 學生中營外居住者ハ校外ニ、學生中營内居住者及生徒ハ校内ニ居住セシム

第十七條第一號ノ規定ニ依ル生徒及

學生中營内居住者ノ兵器及被服ハ所屬部隊ヨリ之ヲ携行セシム  
生徒及學生ノ修業ニ要スル兵器圖書器具消耗品及修業用ノ原料ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十一條 生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

學生ノ願屆其ノ他業務ニ關スル諸件ハ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條 生徒及學生ハ情願ヲ以テ

退校スルコトヲ得ス

第二十三條 生徒及學生左ノ各號ノ一

ニ該當スルトキハ之ヲ退校セシム

一 學術ノ成績不良ニシテ卒業ノ目

途ナキ者

二 軍紀ヲ紊リ又ハ屢法則ヲ犯ス者

三 品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ

者

四 傷痍疾病ニ因リ修業ニ堪ヘサル

者

前項ノ規定ニ依リ退校セシメラレタ

ル生徒第十七條第一項第一號ノ規定

ニ依ル者ナルトキハ原所管部隊ニ之

ヲ歸還セシム

第二十四條 生徒及學生中傷痍疾病其

ノ他ノ事故ニ因リ修業期間内ニ所定

ノ學術ヲ修メ得サル者ニシテ尚望ア

ルモノハ若干日數間之ヲ滯學セシム

ルコトヲ得

第二十五條 前二條ノ規定ニ該當スル

者アルトキハ校長其ノ事由ヲ具シ陸軍技術本部長ヲ經テ陸軍大臣ニ上申シ陸軍大臣之ヲ裁定處分ス

第二十六條 生徒又ハ學生卒業ノ期ニ至リタルトキハ校長ハ考科列序ヲ定メ陸軍技術本部長ヲ經テ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ卒業者ニ卒業證書ヲ付與ス

第二十七條 普通科學生中成績優秀ノ者ハ卒業ノ際陸軍技術本部長ニ於テ

之ヲ員外學生ト爲シ必要ノ學術ヲ研究セシムルコトヲ得其ノ修業等ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二十八條 滯學セシ又キル生徒又ハ學生修業ヲ終リタルトキハ前條ノ規定ニ準シ之ヲ取扱フモノトス

第二十九條 卒業證書ヲ付與セラレタル學生ハ校長直ニ原所管部隊ニ之ヲ歸還セシム但員外學生ト爲サレタル者ニ付テハ其ノ修業ヲ終リタル時ト



ス

第三十條 校長ハ毎年生徒ニ三週間以内、學生ニ二週間以内ノ休暇ヲ與ハルコトヲ得

第三十一條 生徒及學生ノ教育上必要アルトキハ校長ハ砲兵工廠提理ニ稟議シ其ノ工廠ノ工場ノ一部ヲ使用スルコトヲ得

第三十二條 陸軍大臣ハ臨時ニ各隊ヨリ所要ノ工卒ヲ陸軍工科學校ニ分遣

セシメ之ニ砲工兵工長タルニ必要ナル修業ヲ爲サシムルコトヲ得

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年入校セシムハキ學生ハ大正十年二月入校セシム

本令施行ノ際現ニ陸軍砲兵工科學校生徒タル者ハ陸軍工科學校生徒トシ砲兵工長候補者ニ在リテハ相當學年ニ之ヲ

勅令第二百三十八號

編入シ火工下士候補者ニ在リテハ仍從  
前ノ例ニ依リ之ヲ教育ス